

<領域：医療的ケア>

医療的ケア

問題 109 次のうち、スタンダードプリコーション(standard precautions：標準予防策)において、感染する危険性のあるものとして取り扱う対象を1つ選びなさい。

- 1 汗
- 2 唾液
- 3 経管栄養剤
- 4 傷のない皮膚
- 5 未使用の吸引チューブ

問題 110 かくたんきゅういん 喀痰吸引の実施が必要と判断された利用者に対して、かくたんきゅういん 喀痰吸引を行うことに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日中は、1時間おきに吸引を行う。
- 2 食後の吸引は避ける。
- 3 入浴時は、その前後に吸引を行う。
- 4 就寝後は吸引を控える。
- 5 ぎょうがい 仰臥位を2時間保ってから行う。

問題 111 気管切開をして人工呼吸器を使用している人の^{かくたんきゅういん}喀痰吸引に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 気管カニューレを抜いて、吸引を行う。
- 2 頸部^{けいぶ}を前屈した姿勢にして、吸引を行う。
- 3 1回の吸引時間は、20～30秒とする。
- 4 吸引チューブの挿入の深さは、気管分岐部の手前までである。
- 5 吸引を終了した後は、人工呼吸器の作動状況を確認する。

問題 112 胃ろうによる経管栄養の実施手順として、栄養剤を利用者のところに運んだ後の最初の行為として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 体位の確認
- 2 物品の劣化状況の確認
- 3 栄養剤の指示内容の確認
- 4 本人であることの確認
- 5 経管栄養チューブの固定状況の確認

問題 113 イルリガートル(注入ボトル)を用いた経鼻経管栄養に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 栄養剤は、半固形化栄養剤を用いる。
- 2 嘔気^{おうき}があるときは、注入速度を遅くして滴下する。
- 3 イルリガートルに栄養剤を入れてから、2時間後に滴下する。
- 4 栄養剤の液面は、胃から50cm程度高くする。
- 5 使用した物品は、消毒用エタノールにつけて消毒をする。